

ODA における公共財政分野での取り組みについて

株式会社コーエイ総合研究所 金融・行政管理部 杉山 卓

○キーワード

公共財政管理 (PFM)、PFM 改革、中期支出枠組、財政規律

○概要

公共財政管理が対象とする範囲は広範で、予算サイクルの上流から下流までをカバーしつつ、公的部門のマネジメント全般にも及び、国家として機能するために最低限必要な極めて基礎的な行政能力と捉える事もできる。公共財政分野での取り組みは、我が国 ODA においては比較的新しいものであり、JICA もこれを広範な事業実施に係るボトルネックと改めて位置付け、関連のプロジェクトを推進している。

コーエイ総合研究所では公共財政管理に係る技術協力プロジェクト 3 案件を実施中であり、これら経験からの知見を積み上げ、公共財政管理分野の対応能力を強化していく。また、公共財政管理は技術と資金を結集して整備したインフラの持続性を財政面から担保する取り組みのひとつとしても位置付けられ、そのことから、日本工営グループとしての総合的なサービス・技術提案力の向上にも貢献すると思われる。

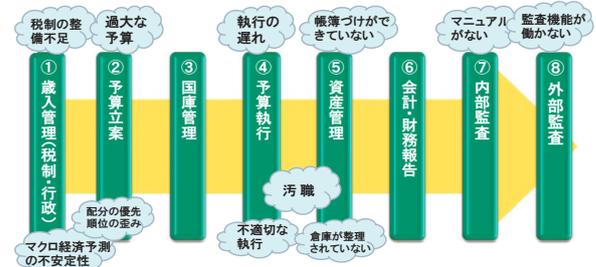
○技術ポイント

- 公共財政改革に含まれる項目と目標は多岐にわたる（下表参照）。
- 多くのドナーによる支援の経験から、近年の趨勢としては、予算管理プロセスの個々の技術の改善ではなく、システムの全体を、途上国の現実のキャパシティに合わせて段階的に改善していくことが重要とされている。
- JICA の取り組みは、JICA 事業の PDCA サイクルへの公共財政管理の視点の強化と、開発課題としての公共財政管理支援のより戦略的な展開を指向。
- 公共財政に係る途上国での主要な問題点は多様である。このうち、コーエイ総合研究所が取り組んでいるプロジェクトは歳入管理、予算立案、資産管理、会計・財務報告、内部監査の分野にわたる（下図右上、下参照）。

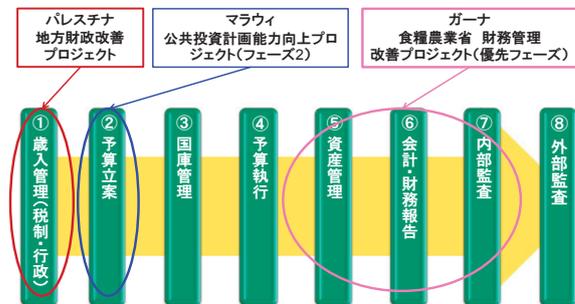
○図・表・写真等

PFM 改革に含まれる項目と目標とする成果

PFM 改革に含まれる項目	PFM 改革の成果	総体的な財政規律	資源の効率的配分	効果的・効率的なサイステリバリーの実現
中期支出枠組の導入		✓	✓	✓
業績予算の導入			✓	✓
統合財政マネジメント情報システムの導入		✓		✓
財政責任法の施行		✓		
国庫単一口座の確立		✓		✓
予算分類の改訂		✓	✓	✓
報告 / 透明性の向上		✓	✓	✓
調達の向上				✓
内部統制 / 内部監査の導入				✓
外部監査の導入		✓		✓



公共財政の流れと途上国での主要な問題点



KRI で取り組んでいる公共財政改革案件の位置づけ